

コード	301030503
記入日	H21.6.8

事務事業途中評価表

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永重利
担当者	山下萬久

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	へき地医療機関補助金(助成金)	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010305	事務事業名称	保健衛生総務管理事業費(人件費以外)	細目コード	828
関連計画			法令・条例規則等	町立へき地診療所条例	

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。					
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民			(対象指標1) 490人 (対象地区人口)				
(対象2)			(対象指標2)				
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	公設民営の崎浦へき地診療所に助成金1,200千円を交付	①	*****	*****	*****	助成金交付件数÷助成金交付予定件数	*****
			補助金交付件数	1件	100%		平成20年度
			(達成率分析) 当初の予定どおり、助成金を交付した。				
			*****	*****	*****	*****	*****
			*****	*****	*****	*****	*****
②	(達成率分析) *****						
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
町の中心部から遠い地域で、医療サービスを提供している公設民営の崎浦へき地診療所に対し、友住郷長を経由して助成金を交付し、地域医療の確保・充実を図る。		①	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
			*****	*****	*****	開所日数÷開所予定日数	*****
			開所日数	245日	100%		平成20年度
			(達成率分析) 当初の予定どおり、達成された。				
			*****	*****	*****	*****	*****
			*****	*****	*****	*****	*****
			(達成率分析) *****				
②							

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。											
	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	4	4	3	1	1					
	②										
成果指標	① 日	952	952	707	245	245					
	②										
総事業費 C (A+B)		千円	7,600	7,600	5,700	1,900	1,900				
直接事業費 A		千円	4,800	4,800	3,600	1,200	1,200				
人件費 B		千円	2,800	2,800	2,100	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源		千円	7,600	7,600	5,700	1,900	1,900				

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	開設者である町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	医療業務は重要施策の一つであり、当然行うべきものである。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	旧有川町の時からの継続事業で、公設診療所でもあるため助成をしなければならない。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	崎浦へき地診療所の経営基盤の安定に資している。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	これ以上、向上させる余地はない。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	人口の減少等により、崎浦へき地診療所の経営は、ますます厳しくなるものと予想されるため、悪影響を及ぼすものと思われる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	● できる ● できない	理由	単一の事業であるため、他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	先代の医師がいた昭和44年頃から、この助成金は交付されていて、削減となると経営悪化が予想される。
	人件費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	必要最小限の人員で行っており、削減はできない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	町が行うものなので、受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	地域住民の健康管理において有効である。
		効率性	1次評価のとおり

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。